

平成23年度6月補正予算

主 要 事 業

---

福 井 県 教 育 委 員 会

---

事業名称の先頭に

「新」とあるのは、23年度6月補正予算の新規事業です。

「拡」とあるのは、23年度6月補正予算において事業内容の拡充を行った事業です。

# I 福井新々元気宣言の実現

## 1 元気な社会

### (1) 日本のモデル「福井の教育」

#### ◇日本の教育センター福井

予算額  
(単位：千円)

- ㊦ 新聞を活用した教育活動普及推進事業 (教育庁義務教育課) 1,552

新聞を活用した小・中学生の教育活動を進め、思考力、判断力、表現力の育成を図ります。

事業内容 新聞記事を元にした「こどもコラムコンテスト」の開催  
新聞社と共働した教員のセミナー、ワークショップの開催

- 奥越地区特別支援学校(仮称)建設事業 (教育庁学校教育振興課、高校教育課) 190,994

25年4月開校予定の奥越地区特別支援学校(仮称)について、体育館など勝山南高校の施設の一部を有効活用するとともに、省エネ対策等の環境に配慮した整備をします。 <債務負担行為>  
<1,612,431>

事業内容 建設工事(23～24年度)  
エコ化整備(太陽光発電、断熱材、複層ガラス、LED照明、雨水利用等)  
事業期間 22～25年度

#### ◇夢と希望を育てる学校

- ㊦ 福井型幼児教育の支援事業 (教育庁義務教育課) 1,696

人間形成の基礎を培う上で大切な幼児教育のあり方等を検討し、家庭、保育所・幼稚園・小学校、地域の連携を図ります。

事業内容 発達段階を見据えた幼児期の教育プログラムの策定  
幼児教育支援センター(仮称)の開設に向けた検討  
保育所、幼稚園、小学校の連携に向けた調査、研修への助言

- ㊦ 夢や希望を育む教育活動推進事業 (教育庁義務教育課) 2,564

学校や生活での体験等を記録し振り返るなど、発達段階に応じたキャリア教育を実施し、夢や目標を持ち、意欲的に挑戦しようとする子どもを育成します。

事業内容 小・中学生が自分の体験や考えを記録し、振り返る「夢カルテ」を活用  
第一線で活躍するプロフェッショナルを講師とした講演会の開催

財源 安心こども基金

- ㊦ 白川文字学の推進 (教育庁生涯学習課、義務教育課) 9,288

故白川静博士が確立した白川文字学を活用した本県独自の漢字学習を小学校で実施するとともに、子どもから大人まで楽しく漢字を学ぶ白川文字学の普及促進を図ります。

事業内容 新漢字学習カリキュラムに基づく副読本の作成  
㊦ 教員を中心とした漢字学指導者養成講座等の開催  
漢字文化講座や地域への出前講座等の開催

㊦ 児童・生徒の確かな学力の育成事業（教育庁高校教育課、義務教育課） 23,687

児童・生徒の興味・関心を引き出す授業改善を進めるとともに、各高校が企画する学力向上のための活動を支援し、確かな学力を育みます。

(1) 教員の指導力向上

ICTを利用して教材や指導案等を集約する「教育情報フォーラム」や、生徒の学力・学習状況の調査を活用し、教員の指導力向上を進めます。

事業内容 優れた教材や指導案のデータを共有し、多くの人が授業で活用して、議論しながら改善するシステムの整備・運用  
学校や地域ごとで集まって話し合い、各教科の専門性を強化  
生徒の授業満足度や学習状況等の調査の分析に基づく指導法の改善

(2) 高校生学力向上推進事業

生徒の学習意欲を高め、確かな学力を育むとともに、職業系高校を中心に産業界の求める人材を育成します。

事業内容 大学進学希望者の学力向上の支援（特別講座、体験入学等）  
就職希望者に対するキャリア教育の強化

事業期間 23～26年度

㊦ 福井型英語コミュニケーション能力向上プロジェクト（教育庁高校教育課、義務教育課） 31,536

授業以外で英語に触れる機会を増加させるとともに、海外語学研修等の実践的なプログラムにより、英語コミュニケーション能力を伸ばし、国際的に活躍する人材を育成します。

事業内容 日常的なリスニング機会の充実（イングリッシュシャワー）

中・高一貫した独自の英語カリキュラムの検討

ALTを活用した土曜スクールの開催

TOEIC受験や海外語学研修の実施

高校生英語ディベート大会や英語キャンプの開催

事業期間 23～26年度

※ALT：語学の授業において発音や会話等を教える外国語指導助手

㊦ スーパーサイエンスクラブ設置事業（教育庁高校教育課） 3,791

大学や研究機関と連携し、実験等を行うスーパーサイエンスクラブを設置し、高校生の知的探究心を伸ばす活動を支援します。

事業内容 高校の科学部が実施する実験・課題研究等の支援

（1校あたり300千円 3校指定）

大学等から各クラブへのアドバイザー派遣、研究発表会の開催

事業期間 23～25年度

㊦ 目指せ 全国科学オリンピック事業（教育庁高校教育課） 1,285

中高生の理数科目に対する興味・関心を高めるとともに、高校生の全国科学オリンピック等への参加を支援し、サイエンス教育を推進します。

事業内容 全国科学オリンピック等への参加促進や代表生徒への支援

中高生に対する「ふくい理数グランプリ」の開催

事業期間 23～26年度

## ◇次をめざす教育の充実

㊦ 学校規模に応じた教育環境の充実（教育庁義務教育課） 4,098

小学1年生に対する35人学級編制の導入や少子化の影響等を踏まえ、小規模校の統合の支援等、教育環境の充実を図ります。

事業内容 元気福井っ子新笑顔プラン（20～23年度）の検証等を行う委員会の設置

学校統合に伴うスクールバスの購入費補助

小規模な小学校の合同授業をモデル地域において実施（2地域）

## 2 元気な県政

### (2) 国体めざす県民スポーツ、生活のなかに楽しむ 県民文化

	予 算 額 (単位：千円)
◇飛躍する福井のスポーツ	
⑧ 国体開催準備事業 (教育庁スポーツ保健課)	5,769
平成30年の福井国体に向け、競技時の審判員等を養成するとともに、広報活動を進めます。	
事業内容 各競技会開催に必要な審判員、運営員の養成 (120名) 広報紙の作成 (約4万部)	
事業期間 23～30年度	
財 源 スポーツふくい基金	
⑨ 競技力向上対策事業 (教育庁スポーツ保健課)	23,000
国体に向け、競技力向上対策本部を設置し、計画的に選手強化を行います。	
事業内容 競技力向上対策本部の設置 (8月予定) 選手強化総合アドバイザーの設置 中高生の有望選手に対する強化練習等の実施 (約900名)	
事業期間 23～30年度	
財 源 スポーツふくい基金	
⑩ 福井運動公園基礎調査事業 (教育庁スポーツ保健課)	14,200
国体や県民スポーツの普及・振興の拠点となる福井運動公園内の各施設を調査します。	
事業内容 各施設の現況や耐震性等の調査	
⑪ 県立ホッケー場整備事業 (教育庁スポーツ保健課)	28,000
国体や全国高校総合体育大会 (24年開催予定) 等の選手強化の拠点として、県立ホッケー場を改修します。	(債務負担行為) (139,093)
事業内容 摩耗や損傷が著しい人工芝の張替	
財 源 共生交付金	
⑫ 県立クレ射撃場環境対策基本計画策定事業 (教育庁スポーツ保健課)	17,100
国体等の選手強化と有害鳥獣駆除に従事する猟友会会員等の射撃技能の維持向上のための拠点として、県立クレ射撃場の再開に向けた環境対策基本計画を策定します。	
事業内容 鉛弾による環境汚染の再発防止対策の検討	

---

---

## ◇生活に福井の文化

### ㊦ 子どもたちの芸術・文化体験交流事業（教育庁文化課）

20,455

子どもたちが本物の芸術・文化に触れる機会を増やすとともに、美術および音楽分野の活動の質を向上させることにより、将来の福井文化の担い手を育成します。

事業内容 県内の多様な文化活動者を地域に派遣する子ども文化塾の開催（100回）  
美術館での鑑賞・創作体験プログラム、学校での鑑賞会の開催（各10回）  
県内弦楽器人口の拡大に向けた小・中学校における弦楽指導のモデル実施  
美術作家を目指す高校生や若手が一流作家から学べる教室の開催

事業期間 23～26年度

財 源 安心こども基金等

### ㊦ 福井ふるさと文学推進事業（教育庁生涯学習課）

1,300

県立図書館の「ふるさと文学コーナー」を改修し、ふるさとゆかりの作家の著作等を集めることにより、県民が郷土文学に触れる機会を増やし、文芸活動の活発化を図ります。

事業内容 ふるさと文学推進委員会の開催と基本構想案のとりまとめ

## II 震災対策

### ◇地震・異常気象・災害などに迅速対応

予算額  
(単位：千円)

#### 1 地域防災対策の強化

##### 小・中学校耐震化促進事業(教育庁学校教育振興課)

18,492

小・中学校の耐震化を支援し、災害時における児童・生徒の安全確保を図ります。

事業内容 市町の実施する耐震補強工事への補助

福井市5棟(中学校1棟、小学校4棟)、坂井市1棟(中学校)

補助率 倒壊の危険性の高い校舎等(Is値0.3未満) 県1/20 (国2/3)

倒壊の危険性のある校舎等(Is値0.3以上)

財政力指数0.5未満の市町 県1/10 (国1/2)

1.0未満の市町 県1/15 (国1/2)

事業期間 23～27年度

※ 上記以外の23年度の耐震補強工事 (県立高校6棟、中学校2棟、小学校3棟)

#### 2 被災地・被災者への支援

### ◇被災者受け入れ体制の充実

##### ㊦ 東日本大震災被災児童・生徒等の就学支援

22,244

(部局連携：教育庁義務教育課、高校教育課、スポーツ保健課、総務部大学・私学振興課)

うち教育庁所管分

18,966

東日本大震災で被災した園児・児童・生徒に対し、給食費等の補助、奨学金の貸付、私立学校の授業料の減免等を行うことにより、就学を支援します。

財源 高校生修学等支援基金

##### ㊧ 東日本大震災被災児童等への心のケア

8,358

(部局連携：教育庁義務教育課、高校教育課、総務部大学・私学振興課)

うち教育庁所管分

7,988

東日本大震災で被災した児童・生徒が在籍する学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童・生徒の心のケアや、教職員・保護者への助言・指導を行います。

事業内容 被災者が在籍する小・中学校、高校(私立学校含む)に対するスクールカウンセラーの派遣

財源 国10/10